



失敗は成功のもと

児童支援専任 西田 一樹

「失敗は成功のもと」昔からこう言われているものの、だれもが失敗するのは嫌ですし、できる限り避けたいものです。近年はインターネット等で様々な情報を得ることができることもあり、実際に自分で試行錯誤しなくても経過や結果を知ることができます。こういったことから失敗する経験が少なく、失敗することに憶病になっている人が増えているようです。今回は、理科の授業の中での「失敗」と「成功」から見えた、子どもたちの成長について、お話したいと思います。

私は、5年生の子ども達と理科の授業を行っています。理科の授業につきものなのが「実験」です。子どもたちは実験の時間を毎回楽しみにしており、自分たちがたてた予想通りの結果が出るのか、それとも違うのかワクワクしながら授業に臨んでいます。今回、取り組んだのは、「流れる水のはたらき」という内容で、実際に川をつくり、水を流して流れる水がどういった働きをするのかを調べるものでした。

クラスを二つに分け、さっそく砂場に大きな坂道を作り始めました。はじめはシャベルなどを使ってせっせと土を運んでいたのですが、そのうち手で土を掘り起こしたり、足で土を踏み固めたりと子どもらしく、元気に活動を始めました。さあ、いよいよ川をつくって、水を流し始めると…水の勢いに負けて、川の途中で洪水が起こり始めました。子どもたちは「うまく流れる！」と自信をもって水を流し始めたのですが、洪水の様子を見て驚いているようでした。「この後どうするのかな？」と見守っていると「カーブが急すぎたから駄目だったんだよ。」「カーブの外側から水が出ているからもっと壁を丈夫につくらないと。」とアイデアを出し合い、「先生もう一回作っていい？」と聞いてきました。もちろん了承し、再び川づくりが始まりました。正直なところ、実験の趣旨とは外れているような気もしましたが、子どもたちがアイデアを出し合うその言葉の中に、今回学んでほしい流れる水のはたらきの「キーワード」がたくさんあふれ出ていました。その後、失敗を繰り返し、最後まで川が開通した時の子どもたちの満足そうな顔はとても印象的でした。そしてその後、教室に戻って授業をまとめたときには、我先にと手を上げ、積極的に意見を述べる子どもたちがいました

失敗することは本当にダメなことでしょうか。大人だって、たくさんの失敗をします。子どもたちにもたくさんの失敗を経験させ、そこからたくさんのことを学ばせてあげるのは、大人の役割ではないかと思えます。これからも、今だからできる経験を子どもたちにたくさんさせてあげたいと思うとても貴重な経験でした。

安全強化WEEK（10月20日～23日）

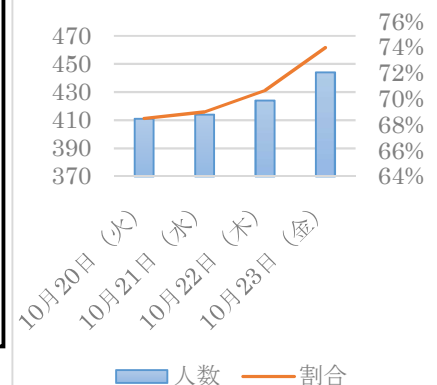
子どもたちの登下校の安全を見守る「安全強化WEEK」を行いました。今回は第2回ということもあり、前回より意識をして、子どもたちも時間を守って登校できていました。グラフを見ていただくとわかるように、週の後半になるにつれて時間を守って登校できる子が増えてきています。

また、下校の見守りをしていると「道路を広がって歩いている」「通学路を守っていない」「話に夢中になるあまり、後ろからくる車などに気がつかない」といった課題も見えてきました。学校でももちろん指導していきますが、ご家庭でも話題にさせていただけるとありがたいです。

子どもたちの安全・安心のためにご協力、よろしくお願いいたします。

登校時刻

8：00～8：15に門を通過した児童



10月の教育活動の様子



応援団長
選手宣誓



1年生

初めての運動会で緊張しましたが、みんな頑張りました。演技では、リズムよく跳んだり、回ったりしながら笑顔で踊りました。徒競走では、フィニッシュを目指して全力で走り切りました。



1年生



2年生

2年生

頭巾を被った忍者キッズになり切り、跳びはねたり走ったりと、元気いっぱいに踊りました。後半のダンスは、曲の雰囲気や忍者のテーマに合った動きをクラスごとに考えて踊りました。



3年生

今年度のテーマは「風」！旗を使って小さな風が大きな風になる様子を表現しました。また、嵐の後に新緑が芽生える様子は、各自で考えました。前半のダンスは、子どもたちが考えた振り付けで、元気いっぱいに踊りました。



3年生



放送係



審判係

がんばったね！ 大門運動会！

第47回 大門運動会 10月18日(日)

秋晴れの空の下、運動会を行いました。保護者の皆様、地域の皆様にご協力、ご参観いただきありがとうございました。

個別支援学級

「最後まであきらめずに㊦ールまでがんばろう」をめあてにして取り組み、一人ひとりが学習の成果を発揮しました。



5・6年応援係

様々な運動会係で、6年児童の活躍が見られました。



進行係

プログラム係



4年生

4年生

4年生は縄跳びを使った演技をしました。学年目標「シンフォニー」の「チャレンジ精神」を大切にしながら、自分のめあてに向かって努力し、学習の成果を発揮しました。



安全な入場を見守っていただきました。



テレビで中継を見ながら、声援を送りました。

5年生

5年生は、演技実行委員の児童を中心に一から演技を考えました。リズムカルな「動」の動きと体づくりの「静」の動きの組合せを取り入れた演技、5年生全員が心一つにして表現することができました。



5年生



6年生

6年生

今年も伝統の「大門ソーラン」を披露しました。小学校生活最後の演技で6年間の集大成となる姿を表現しました。動きのキレや腰の低さを意識して、気持ちを込めた力強い演技ができました。



閉会式では、6年生からのメッセージが伝えられました。



あいさつ週間 9月23日(水)～10月2日(金)

大門小では、挨拶の大切さに重点をおいて指導しています。運営委員を中心に気持ちの良い挨拶の大切さについて話し合いました。チャレンジビンゴカードで一人ひとりがめあてをもちながら、「あいさつ週間」に臨みました。学校中に明るい挨拶の声があふれていました。

6年 運動会係活動 10月2日(金)

今年度は、6年生を中心に運動会係をつくりました。感染症対策のため、限られた中で自分たちに何ができるかを考えました。大門運動会をつくり上げられるように、各係で児童と職員がアイデアを出したり、当日に向けての準備をしたりしました。



おはなしダイヤモンド 10月7日(水)～

今年度は10月より、おはなしダイヤモンドが開始されました。感染症予防に留意し、話し手と聞き手の間には距離がとられた形でしたが、子どもたちは読み聞かせを楽しんでいました。

不審者対応訓練 10月8日(木)

不審者が校舎内に侵入したときを想定した訓練です。自分の安全を守るための適切な行動と迅速な避難の仕方をビデオで学習した後、訓練を行いました。子どもたちは真剣な気持ちで訓練に取り組んでいました。



前期終業式 10月9日(金) 後期始業式 10月12日(月)

前期終業式では、4年生の代表児童が前期の学習や生活を振り返り、自分たちの頑張ったことや成長したことについて発表しました。後期始業式では、3年生の代表児童が、これから頑張っていきたいことについて発表しました。今年度は、放送での式でしたが、後期に向けての意欲と期待を高めました。

1・6年 応援うちわ作り 10月13日(火)

ハッピーサポートの活動として、6年生と1年生で運動会のうちわ作りを行いました。画用紙にうちわの枠を写して切り取ったりプログラムを貼ったりと、うちわ作りを通してペアでの交流を深めました。その他の学年でも、ペア学年同士でメッセージを交換し、交流の機会をもちました。



今月の「大門ふれあい農園」

冬野菜が育ってきました

だんだん寒くなってきましたが、各学年で植えた冬野菜の種が芽を出し、葉が大きくなってきました。順調に育っています。



農園委員会児童による活動

農園委員会の児童は、毎朝8:00～8:15まで農園の整備を行っています。雑草がたくさん生えていた場所をくわで耕し、花畑にすることができました。また各学年の水やりや雑草抜きも意欲的に行っています。

